

AVD-222 SD/HDアップコンバータ

概要

AVD-222はAVD-200システムに搭載可能なNTSCもしくはHD/SD-SDI (D1) を3G/HD-SDIにアップコンバートするモジュールです。

特長

- (1) 3G (レベルA/B) /HD/SD-SDIに対応し、入力レート/出力レートをLEDで表示します。

3G-SDI	緑	点灯
HD-SDI	青	点灯
SD-SDI	白	点灯
無信号	消灯 (非対応フォーマット含む)	
- (2) 出力モードは、NTSCもしくはSD-SDIを入力し、HD-SDI信号を出力するモードと、NTSCもしくは、SD/HD-SDI信号を入力し、3G-SDI信号 (プログレッシブ変換) を出力する2つの動作モードがあります。
- (3) 3種類のアスペクト変換 (スクイーズ、エッジクロップ、サイドパネル) が可能です。
- (4) エンベデッドオーディオ16chに対応します。
- (5) リマッピング、ゲイン調整、ダウンミックス、任意チャンネルのミックス、機能を装備しています。
- (6) 音声遅延を0ms~1secまで1msステップで付加することが可能です。
- (7) 12個のプリセットに各種設定を格納することができ、局間制御パケットのカレント音声モードに従いプリセットの自動切り替えが可能です。
- (8) 字幕パケット・局間制御パケット (ARIB STD-B37,B39) を通過させることができます。
- (9) 筐体LTC-INに入力されたタイムコードを、タイムコードパケットとして重畳することができます。
- (10) 筐体REF入力もしくはモジュールREF入力に同期させることができます。
- (11) リファレンス信号の状態をLEDで表示します。

リファレンス正常	・・・	緑	点灯
リファレンス異常	・・・	橙	点灯
- (12) ゲイン調整は、-30.0dB~+20.0dBまで、0.1dB単位で設定可能です。
- (13) 任意チャンネルのミックスは、4chまでの音声ソースをミックスすることができ、ミックスした音声を8通り作成することができます。

その8通りのミックスした音声を出力にマッピングすることができます。
- (14) デジタル・オーディオの基準レベルは設定スイッチで切り替えることができます。
- (15) 接点入力によるプリセットの切替及びアスペクト切替が可能です。
- (16) パラメータの設定はPCとUSBケーブルで接続してPCから設定か、PC上のツールでパラメータ設定し、SDカードもしくはUSBフラッシュに保存し、そのSDカードもしくはUSBフラッシュをフロントモジュールに挿入することにより設定します。設定されたパラメータはSDカード内に記録されます。
- (17) SNMPに対応します。

入力信号仕様

SDI入力	
対応規格	3G-SDI : 1080/59.94P (レベルA/B) HD-SDI : 1080/59.94i SD-SDI : 525/59i
音声対応フォーマット	48 kHz sampling 20bit, 24bit 同期音声のみ
コネクタ	BNC×1
入力レベル インピーダンス	0.8Vp-p 75Ω
NTSC入力	
対応フォーマット	VBS
コネクタ	BNC×1
入力レベル インピーダンス	1Vp-p 75Ω
SDI出力	
対応規格	3G-SDI : 1080/59.94P (レベルA/B) HD-SDI : 1080/59.94i SD-SDI : 525/59i
音声対応フォーマット	48 kHz sampling SD 20bit, HD 24bit
コネクタ	BNC×3
出力レベル インピーダンス	0.8Vp-p 75Ω

一般仕様

使用条件	連続使用
動作環境	
周囲温度	0℃～40℃
周囲湿度	20%～85%(R.H) 結露無き事
設置環境	室内
電源	DC12V
外形寸法	398.5×88mm
占有スロット	1スロット

ブロック図

